

専 門 教 養
令和 3 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
養 護 教 諭

## 注 意

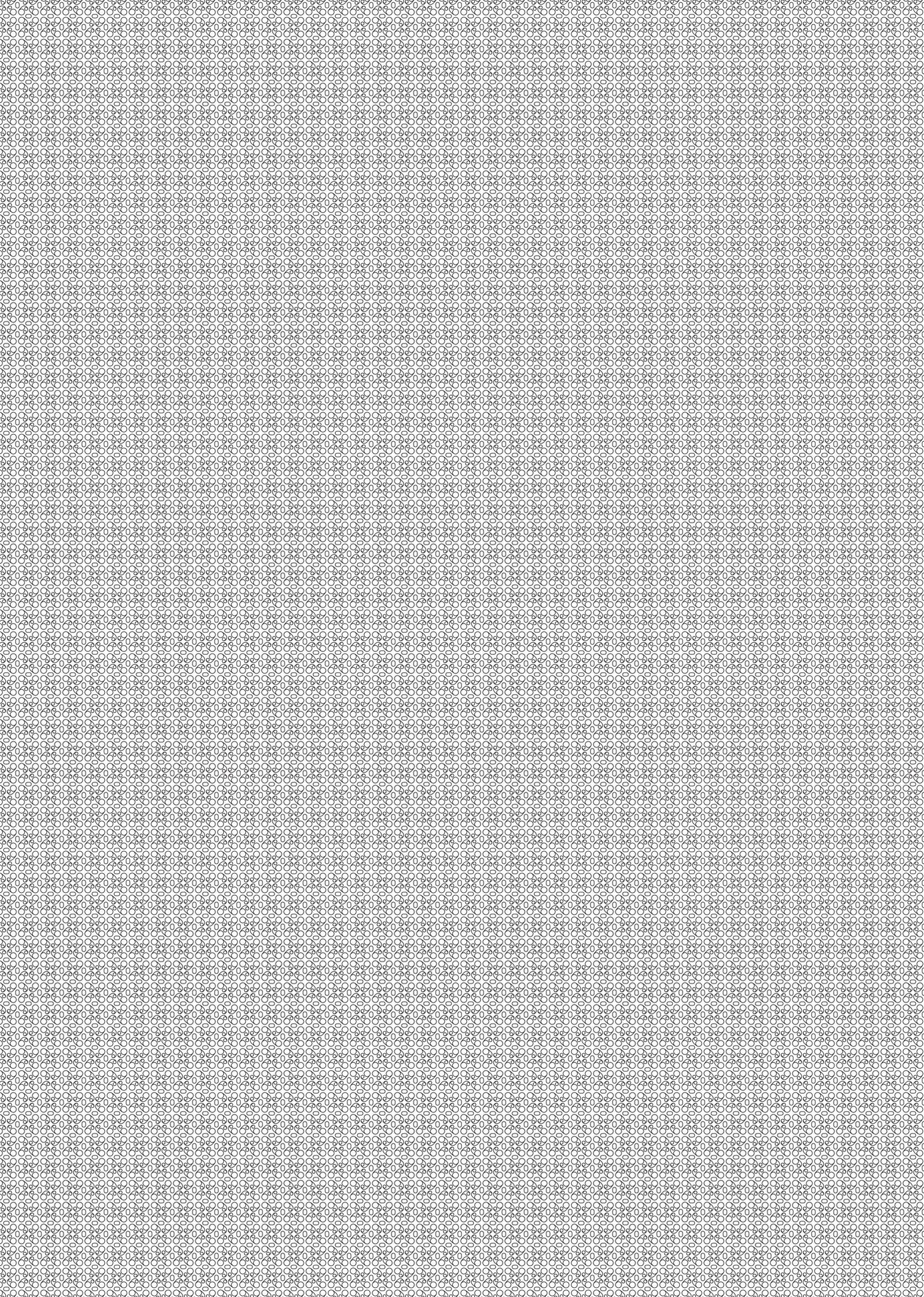
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、16ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名を記入**してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例)のように解答番号  の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="1"/>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



**1** 法令及び学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 学校保健に関する記述として、学校保健安全法施行規則に照らして適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 児童・生徒の定期的健康診断において、身体計測、視力及び聴力の検査、問診、胸部エックス線検査、尿の検査、寄生虫卵の有無の検査その他の予診的事項に属する検査は、学校医又は学校歯科医による診断の前に実施するものとする。
- 2 児童・生徒の定期的健康診断を行うに当たっては、小学校においては入学時及び必要と認めるときに、小学校以外の学校においては必要と認めるときに、あらかじめ児童・生徒の発育、健康状態等に関する保健調査を行うものとする。
- 3 学校において予防すべき感染症の第二種に規定されている流行性耳下腺炎にかかった者については、耳下腺の腫脹が完全に消失し、かつ、全身状態が良好になるまで出席停止とする。
- 4 学校において予防すべき感染症の第二種に規定されている髄膜炎菌性髄膜炎にかかった者については、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで出席停止とする。

[問 2] 中学校学習指導要領保健体育の「各学年の目標及び内容」の〔保健分野〕の「内容」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 1 健康の保持促進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。
- 2 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。
- 3 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。
- 4 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。

**2** 救急処置に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、けが及びその処置に関する事例である。記述中の空欄 **ア** に当てはまるものとして最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。解答番号は **3**。

高等学校 1 年生の生徒 A が、テニス部の活動中に顧問の教諭 B に付き添われて保健室に来室した。来室時、生徒 A は右足のかかとを地面につけられない状態で、教諭 B に身体を支えられながら歩いていた。

養護教諭 C が、生徒 A に事情を聞いたところ、生徒 A は、「テニスのラリー中に、相手が打ったボールが自分の後ろの方向に高く上がった。そのボールを追いかけて走っていたときに、右足首を内側にひねった。」と言った。養護教諭 C が、生徒 A の右足首を観察すると、左足首に比べて腫れていたが、変形は見られなかった。養護教諭 C は、けがの緊急度を判断するため、生徒 A の右足首の打診及び運動検査を行った。その結果、生徒 A の右足首には、**ア** ため、養護教諭 C は捻挫の疑いがあると判断し、応急処置をして、保護者の付き添いのもと医療機関を受診させた。

- 1 介達痛があり、他動運動は不可能だった
- 2 介達痛があり、他動運動はある方向のみ制限があった
- 3 介達痛はなかったが、他動運動は不可能だった
- 4 介達痛はなかったが、他動運動はある方向のみ制限があった

[問 2] 次の記述は、中学校の養護教諭が、熱中症の予防と発生時の対応に関する校内研修会を行った際の発言である。下の(1)、(2)の各問に答えよ。

熱中症は、暑くなり始めや、急に暑くなる日等の体がまだ暑さに慣れていない時期、それほど高くない気温でも、湿度等の条件により発生しています。そのことを踏まえて、気候の状況により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、屋外での活動を屋内での活動に変更するなどの対応をお願いします。また、熱中症予防のため、学級での朝の健康観察は重要ですので、体温や体調等について、必ず健康観察を行ってください。

全校で熱中症予防に取り組めるように、職員室や玄関、体育館に熱中症の危険指数を測定する機器を設置してあります。この機器で、湿球黒球温度が  ℃以上で運動は原則中止になります。授業開始時には運動が可能な値であっても、授業開始後に湿球黒球温度が上昇し、運動を中止する値になった場合、その場で速やかに活動を中止し、運動を伴わない活動に変更をお願いします。

熱中症が発生した場合、本校では、「日本救急医学会熱中症分類2015」の指標を用いて判断を行っております。Ⅰ度では、安静や冷却、水分摂取等で対応しますが、Ⅱ度では医療機関での診療が必要になり、Ⅲ度では入院加療が必要になります。万が一、生徒が体調不良を訴えた際には、その生徒を涼しいところや日陰に移動させて、速やかに養護教諭までご連絡ください。

(1) 記述中の空欄  に当てはまるものとして適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は  。

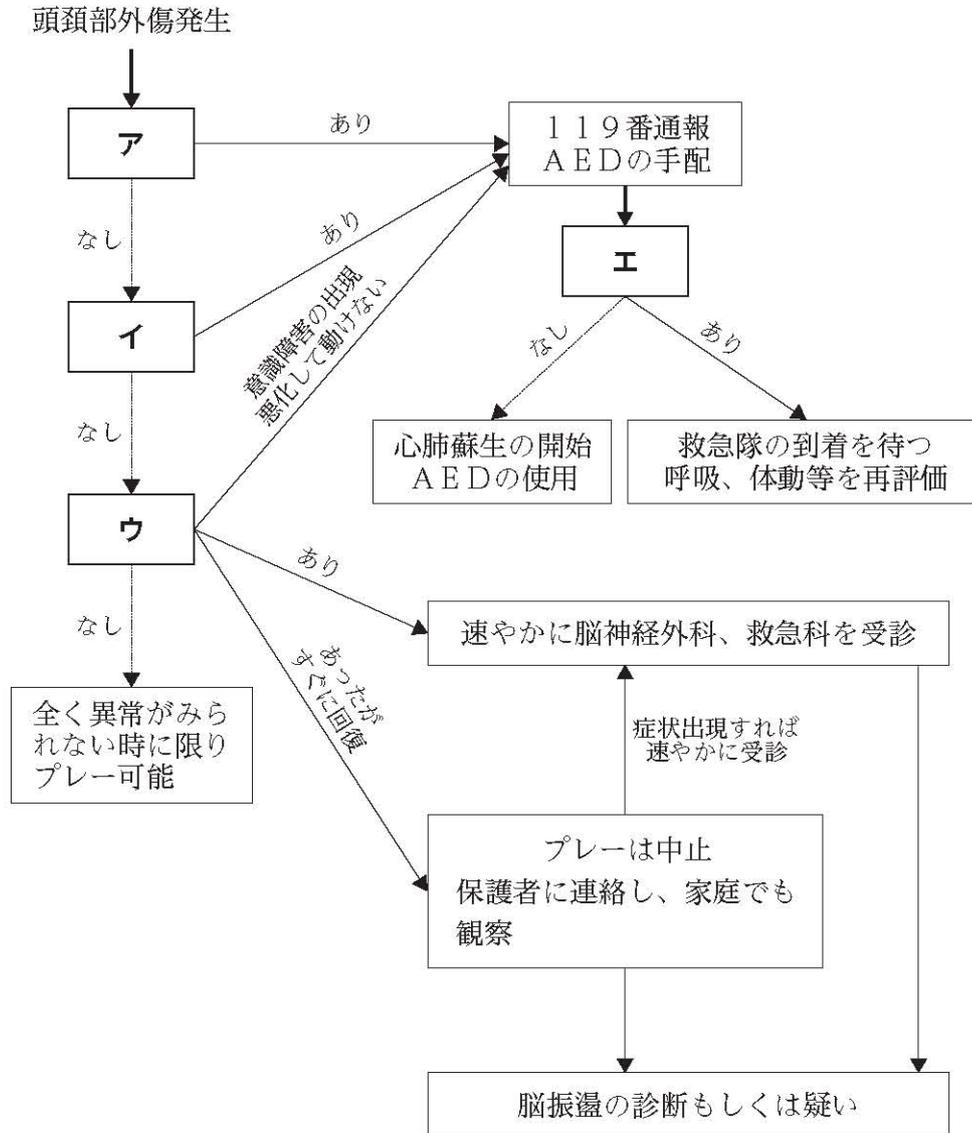
- 1 21
- 2 25
- 3 28
- 4 31

(2) 下線部について、このときの症状として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感
- 2 めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗
- 3 筋肉痛、筋肉の硬直、意識障害を認めない
- 4 意識障害、痙攣発作、肝・腎機能障害、血液凝固異常

[問 3] 次の図は、頭頸部外傷が発生した際の対応の流れを模式的に示したものである。図中の空欄ア～エに当てはまるものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアは 、イは 、ウは 、エは 。

図



(独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部「スポーツ事故対応ハンドブック」  
(令和2年12月) から作成)

- 1 呼吸の確認、頸部の安静に留意
- 2 重度意識障害の有無
- 3 頸髄・頸椎損傷の有無
- 4 脳振盪症状の有無

**3** アレルギー疾患に関する次の各問に答えよ。

[問 1] アトピー性皮膚炎に関する記述として、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン 令和元年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会 令和2年3月）に照らして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **10**。

- 1 湿疹は、顔、首、肘の内側、膝の裏側などによく現れるが、全身に広がることはない。軽症では、皮膚がかさかさ乾燥していることが多く、悪化するとジュクジュクしたり、硬く厚くなったりする。
- 2 湿疹がない部位は、健康な人と同様のバリア機能が保たれているが、湿疹がある部位は、健康な人の皮膚に比べて皮膚表層の水分量が少なく、また物質が透過しやすくなっている。
- 3 かゆみを減らすには、適切な治療によって湿疹そのものをよくすることが何より大切であるが、緊急避難的には、かゆみを生じた部位を冷やすことで、ある程度症状を和らげることができる。
- 4 外用薬を塗布する場合、患部を清潔にした後に外用薬を必要量すりこむようにして、薄く塗る。浸出液が出てジュクジュクしていたり、とびひなどの細菌感染症を起こしている場合は、表面をガーゼや包帯で覆う必要がある。

[問 2] 次の記述は、食物アレルギーに関する事例である。記述中の下線部①～④のうち、食物アレルギーの対応に関する記述として**適切でないもの**は、下の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

小学校5年生の児童Aが、給食の時間に焦った様子で保健室に来室し、「先生、Bさんがお弁当を食べている最中に倒れました。すぐに教室に来てください。」と養護教諭Cに伝えた。養護教諭Cがすぐに教室に向かうと、児童Bは床に横になったままぐったりしていた。

児童Bは、小麦が原因となる食物アレルギーと診断されており、給食の代わりに毎日家庭から弁当を持参していた。また、児童Bは、アナフィラキシーショックを起こす可能性があることから、主治医よりアドレナリン自己注射薬を処方されており、ランドセルの中に保管していた。

養護教諭Cが、教室にいた学級担任の教諭Dに状況を確認したところ、児童Bがふりかけのかかったご飯を食べ始めた直後に具合が悪くなったことが分かった。養護教諭Cが、ぐったりしている児童Bに「Bさん、わかりますか。」と声をかけると、児童Bは「はい。」とかすれた声で返事をした。

養護教諭Cは、学級担任の教諭Dにアドレナリン自己注射薬をランドセルから取り出すよう指示した。養護教諭Cは、児童Bに吐き気や嘔吐がないことを確認した後、児童Bを仰向けに寝かせて、足の下にかばんを入れて高くした。連絡を受けて教室に駆け付けた副校長Eは、状況確認を行い、養護教諭Cに児童Bへのアドレナリン自己注射薬の注射を指示した。さらに、その場にいた教諭Fに自動体外式除細動器の準備を、教諭Gに時間等の記録を指示した。併せて、副校長Eは、救急車を要請した。

養護教諭Cは、教諭Dからアドレナリン自己注射薬を受け取り、ケースから取り出して安全キャップを外した。養護教諭Cは、注射薬の先端を児童Bの太ももの前外側に垂直になるように「カチッ」と音がするまで服の上から強く押し付け、音がすると同時に注射薬を抜き取った。養護教諭Cは、注射後に注射針のカバーが使用前より伸びていることを確認した。その後、救急隊員が到着し、児童Bは医療機関に救急搬送された。

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④

**4** 保健管理に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 学校環境衛生基準に関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 教師 1 人と小学校 1 年生 30 人が在室している教室内において、60 分間に発生する二酸化炭素量 [m<sup>3</sup>/時] として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。ただし、授業開始時の二酸化炭素濃度は 400ppm で、小学生(低学年) 1 人当たりの二酸化炭素呼出量は 0.011m<sup>3</sup>/時、大人 1 人当たりの二酸化炭素呼出量は 0.022m<sup>3</sup>/時とする。解答番号は  。

- 1 0.0036
- 2 0.33
- 3 0.352
- 4 0.512

(2) 照度に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 図書室で図書を閲覧する際の照度は、750ルクス程度が望ましい。
- 2 体育館を使用する際の照度は、150～250ルクス程度が望ましい。
- 3 食堂で給食を食べる際の照度は、500ルクス程度が望ましい。
- 4 コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500～1000ルクス程度が望ましい。

[問 2] 「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」(公益財団法人日本学校保健会 平成27年8月)に関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 学校生活管理指導表指導区分のうち、「B」に当てはまるものとして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 同年齢の平均的児童生徒にとっての軽い運動にのみ参加可。
- 2 同年齢の平均的児童生徒にとっての中等度の運動にまで参加可。
- 3 登校はできるが運動は不可。
- 4 入院または在宅医療が必要なもので、登校はできない。

(2) 定期健康診断における、脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態の検査に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 背骨が曲がっていることを重点的に診る場合、両腕を胸の前で組んだ状態で前屈させながら、背中の肋骨の高さに左右差があるかどうか、腰椎部の高さに左右差があるかどうか確認する。
- 2 腰を曲げたり、反らしたりすると痛みがあることを重点的に診る場合、かがんだり、反らしたりしたときに、腰に痛みが出るか否かをたずね、後ろに反らせることにより腰痛が誘発されるかどうか確認する。
- 3 肩関節に痛みや動きの悪いところがあることを重点的に診る場合、両肘関節を伸展させた状態で上肢を前方挙上させて異常の有無を検査する。このとき、肩関節の可動性は児童・生徒の正面より観察する。
- 4 肘関節に痛みや動きの悪いところがあることを重点的に診る場合、両前腕を回外させて、手掌を上に向けた状態で肘関節を屈曲・伸展させて異常の有無を検査する。屈曲では手指が耳につくか否かを観察する。

[問 3] メンタルヘルスに関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 危機状況によるトラウマ（心的外傷）に関する記述として、「学校における子供の心のケアサインを見逃さないためにー」（文部科学省 平成26年3月）に照らして**適切でないもの**は、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 危機発生直後、子供にトラウマ反応が現れたら、子供の話に耳を傾け、質問や不安には、子供が理解できる言葉で、現在の状況を説明する。ただし、子供の気持ちを根掘り葉掘りきいたり、あまりにも詳細に説明しすぎたりするのは逆効果である。
- 2 避難訓練や、被災当時の回想や津波をテーマにした話合い等、トラウマに触れる可能性がある集団的取組を学校で行う場合は、子供たちの日常性や安全性を取り戻す効果があるので、被災後すぐに実施することが望ましい。
- 3 幼児期に被災した子供たちは、その後成長、発達するにつれて、自らの体験の意味を理解して衝撃の全体像を認識することになる。そのため、数年後、被災した時の怖さを思い出す出来事に遭遇したときに、トラウマが再現する可能性がある。
- 4 PTSDの専門的治療は一時的に心理的苦痛を伴いやすく、プライベートな内容を扱う必要があること、更に症状によっては高度な専門性を要するため、治療は原則として医療機関で個別に行われる。

(2) 神経性食欲不振症に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 食行動の異常が見られ、主に拒食をするが、過食をすることはない。
- 2 運動を避けるなど、活動が低下する傾向にある。
- 3 病識があり、下剤の乱用や自己誘発嘔吐をすることがある。
- 4 身体症状として、低血圧、徐脈、低体温を呈する。

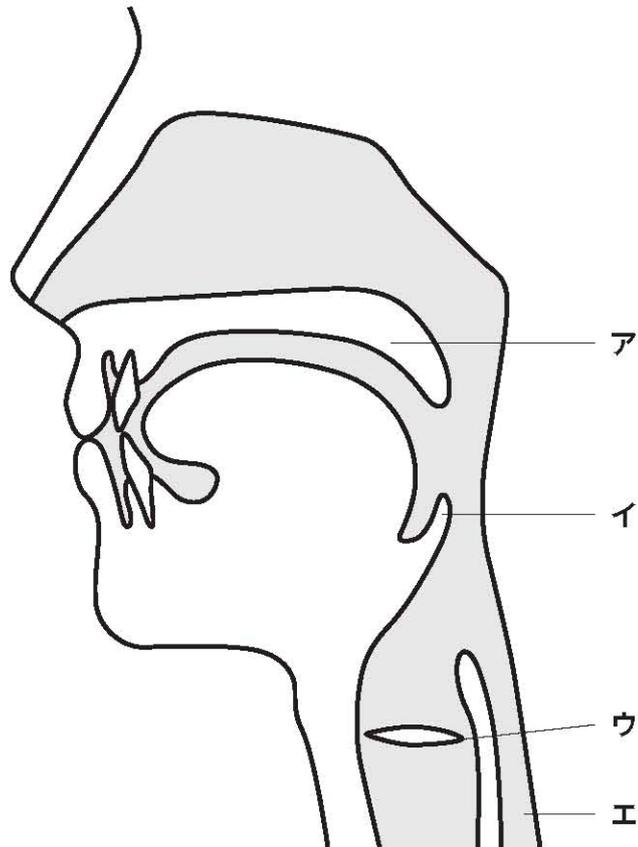
[問 4] 感染症に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 伝染性紅斑の病原体は、ヒトパルボウイルス B19 である。感染経路は、主として飛沫感染である。
- 2 百日咳の病原体は、アデノウイルスである。感染経路は、主として飛沫感染と接触感染である。
- 3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の病原体は、A 群溶血性レンサ球菌である。感染経路は、主として母子感染である。
- 4 咽頭結膜熱の病原体は、ムンプスウイルスである。感染経路は、主として接触感染と飛沫感染である。

5 ヒトのからだの仕組みと疾病等に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、咽頭及び喉頭の構造を模式的に表したものである。図中の器官ア～エの名称として適切なものは、下の1～9のうちどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号は、アが  、イが  、ウが  、エが  。

図



- 1 食道
- 2 鼻前庭
- 3 気管
- 4 軟口蓋
- 5 鼻甲介
- 6 声帯
- 7 喉頭蓋
- 8 咽頭扁桃
- 9 口蓋扁桃

[問 2] 腎臓に関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

(1) 腎臓の構造やはたらきに関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 腎臓は、第9胸椎から第10腰椎の位置で腹腔の背中側に脊柱を挟んで左右に1個ずつ、合計2個ある臓器で、体液の濃度などを調節している。
- 2 腎臓の皮質には、ボーマンのうを糸球体が包んだ腎小体が多くある。腎臓に入った血液は、血球とタンパク質を除いた成分がボーマンのうから糸球体へろ過されて原尿となる。
- 3 原尿は、腎細管や集合管を通る過程で、毛細血管へ再吸収される。このとき、グルコースや無機塩類は再吸収されるが、尿素や水はほとんど再吸収されず、体外へ排出される。
- 4 腎臓では、血圧の低下や血液量が減少すると、傍糸球体装置からレニンが分泌され、その後副腎皮質からアルドステロンが分泌される。

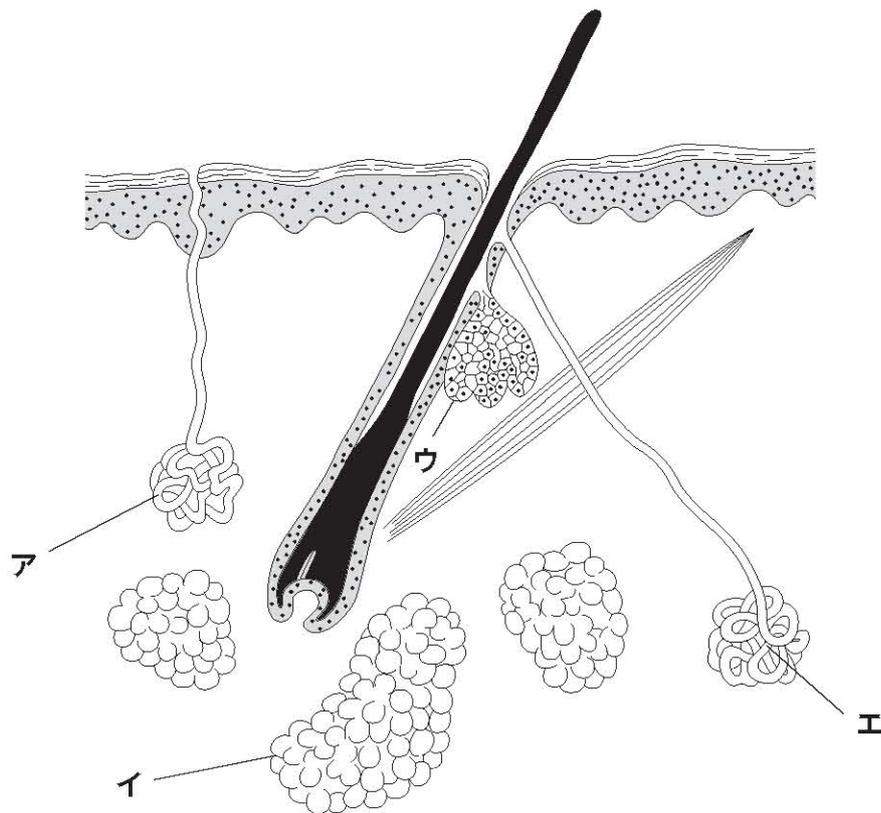
(2) 腎臓病に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 ネフローゼ症候群では、大量の蛋白尿のために血中の蛋白が減り、むくみがでる。
- 2 急性糸球体腎炎では、急性に血尿、蛋白尿を呈し、低血圧を示す。
- 3 膜性増殖性糸球体腎炎では、血尿、尿糖、蛋白尿を呈し、低補体血症を示す。
- 4 巣状分節性増殖性糸球体腎炎では、血尿は呈さないが、蛋白尿を呈する。

[問 3] 皮膚に関する次の(1)、(2)の各問に答えよ。

- (1) 次の図は、皮膚の構造を模式的に表したものである。図中の器官ア～エのうち、エクリン汗腺を表しているものとして適切なものは、下のA群の1～4のうちどれか。また、エクリン汗腺に関する記述として最も適切なものは、下のB群の1～4のうちではどれか。解答番号は、A群が  、B群が  。

図



【A群】

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ

【B群】

- 1 手掌と足底にはなく、顔面に多く存在する。
- 2 思春期になると発達し始める。
- 3 精神性発汗が起きる。
- 4 タンパク質に富む汗を出す。

(2) 皮膚症状に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 四肢末端に出現する水疱性発疹は、ペーチェット病の典型的な症状である。
- 2 水疱や痂皮が混在する発疹は、全身性エリテマトーデスの典型的な症状である。
- 3 神経支配領域に出現する小水疱を伴う丘疹は、帯状疱疹の典型的な症状である。
- 4 顔面に限局して出現するバラ疹は、梅毒の典型的な症状である。

[問 4] 次の記述は、ある疲労骨折に関するものである。この疲労骨折の名称として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

正常な骨に軽微な外力が繰り返し加わることにより生じる、長距離走者などにみられる予後が良好な疾走型疲労骨折や、バレーボール選手などにみられる難治性の跳躍型疲労骨折がある。

- 1 脛骨疲労骨折
- 2 中足骨疲労骨折
- 3 肋骨疲労骨折
- 4 踵骨疲労骨折

6

今日的な教育課題に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 不登校状態が長期化している児童・生徒への対応に関する記述として、「児童・生徒を支援するためのガイドブック～不登校への適切な対応に向けて～」(東京都教育委員会平成30年12月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

29

- 1 不登校状態が長期化している児童・生徒が、別室へ登校する場合、登校を再開した直後から学校にできるだけ長い時間滞在させ、時間割どおりに継続的に学習に取り組ませることが望ましい。
- 2 不登校状態が長期化している児童・生徒が、別室へ登校する場合、他の児童・生徒に会うことは、当該児童・生徒にとって不安の増大につながるため、いかなる状況であっても、他の児童・生徒と交流することは避けるべきである。
- 3 不登校状態が長期化している児童・生徒が、部分的な教室復帰をする場合、本人の選んだ抵抗感の少ない授業などから、少しずつ参加させる。また、信頼できる友達がいる場合には、一緒に教室に入ってもらおう。
- 4 不登校状態が長期化している児童・生徒が、部分的な教室復帰をする場合、担任教諭等は、当該児童・生徒が教室に入ってきたときに、他の児童・生徒が自然に振る舞うよう、その学級の児童・生徒にあらかじめ話すことはしない。

[問 2] 次の記述は、医療的ケアに関するものである。記述中の下線部①～⑤のうち、「都立学校における医療的ケア実施指針」（東京都教育委員会 令和2年3月）に照らして**適切でないもの**は、下の1～5のうちのどれか。解答番号は  。

都立学校において医療的ケアを実施する目的は医療的ケア児に対して、安全かつ適切に医療的ケアを行うことにより、児童・生徒等が安全で安心して学ぶことができるようにすることである。医師が常駐している医療機関等において、治療上の目的から医療行為を実施するものと同じである。

医療的ケア児が、学校で医療的ケアを受ける意義とは、呼吸状態を含む健康状態が改善され、より快適な状態で学習に参加することができることである。加えて、保護者以外の人も自分の健康状態や支援の必要性を伝える機会が広がり、関係性がより深まることによつて、安心感・信頼感をもつこともできる。

また、学校生活のみならず地域生活における活動の充実、更には学校卒業後の生活の充実に向け、医療的ケアの内容の変化や実績を学校生活支援シート（個別の教育支援計画）に反映させるなどして、関係者と適切に連携することは、将来の自立と社会参加を支援する観点からも、重要な意味をもつ。

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④
- 5 下線部⑤

